

会 報

土生米作氏 昭和四五年九月二〇日逝去
行年七九才

本会会員、土生米作氏長逝にあたり、立川輝信氏は本会を代表して九月二五日の告別式に列席した。故人は五〇年の長きにわたり、学校教育、社会教育、社会福祉事業等に大きな功績があり、いくたの表彰を受けられた。また、その該博な学識をもって本会会員としても多くの足跡を残された。

土生米作氏略歴

明治二四年一月一〇日大分県大野郡三重町大字市場二一〇五番地にて出生。

明治四四年三月大分県師範学校第一部卒業、同年三重第一小学校および小野市小学校奉職、大正一〇年一月より昭和二一年五月まで朝鮮の京城に在住、京城府内初等学校、中等学校長を歴任、とくに朝鮮総督府視学として全道の教育振興に活躍、第二次大戦後、二三年六月〜二七年三月県立三重高等学校定時制校舎主任を振り出しに、二三年七月、三重町社会教育委員長、昭和二四年九月〜二九年一月大分県社会教育委員、二七年五月大分県光明寮理事長、三六年八月文化財保護調査委員長、三七年一二月三重町史編集委員長のほか幾多の要職

を歴任。(故土生米作先生告別の朶より、勝日記)

一〇二

編 集 後 記

本号の校正編輯共に勝目委員の労を煩わしました。

最初民俗特輯の予定でしたが、増頁となるので一部省き、他の資料を後半に採録致しました。筆者の怠慢からつき／＼と発行がおくれ六十号から先を越され、折角御投稿下さった各位に対し申し訳ありません。

右様の次第で本号を続民俗資料号と致しました次第です。(立川)

昭和四十六年三月二十五日印刷
昭和四十六年三月二十八日発行

発行人 渡 辺 澄 夫
印刷人 高 井 久 雄

大分市上野
印刷所 三恵印刷株式会社
電話⑤〇一二三番

大分市且ノ原

大分大学教育学部国史研究室内
発行所 大分県地方史研究会
(振替下関五二九四番)